THE GAME MACHINE

発行所
アミューズメント通信社
編集・発行人 赤木真澄
大阪市北区神山町14(第2松栄ビル)
〒530 ☎06(314)0309
郵便振替 大阪307852
年間購読料(送料共)7,200円

フリッパー日本一をめざして
10日から予選、5月2日決勝
セガ社の全国フリッパー大会細目決まる

かねてから準備中の㈱セガ・エンタープライゼス(本社=東京都大田区羽田一ー二ー十二、☎七四二ー三一七一、D・ローゼン社長)の全国フリッパー大会の細目が決定した。正式名称は〝ピンボール全国チャンピオン大会〟。同社が主催となり、東宝㈱、東宝東和㈱の後援、山水電気㈱の協賛が決定している。

同社の新作フリッパーキャンペーンを兼ねたこの競技は、四月十日から全国二十五カ所で予選が開始され、四月二十五日に全国七大都市の地区決勝大会、そして五月二日東京で開催される全国チャンピオン大会で終了する予定。

賞品は、米国西海岸旅行、サンスイ・コンポ・ステレオ「デルトーネ」、小型テレビ、ラジオ、Tシャツなど豪華な内容。

また競技の参加費はすべて無料で行ない、全国チャンピオン大会の出場者は、主催者側が東京へ招待するなどと、いたれりつくせりである。

地区予選、地区決勝大会、全国チャンピオン大会の会場は次のとおり。

●地区予選会場
釧路地区=釧路パルコゲームセンター
小樽地区=小樽東宝ゲームセンター
札幌地区=☆東宝札幌ゲームセンター
仙台地区=☆ヒノデベガス
水戸地区=ゲームスポット・ミト
宇都宮地区=東武ランドゲームセンター
高崎地区=高崎東宝ゲームセンター
柏地区=丸井柏ゲームセンター
東京地区=☆東宝日比谷アーケード・ゲームセンター
名古屋地区=☆名宝ゲームセンター
京都地区=京極東宝ベガスコーナー
奈良地区=奈良西大寺ゲームコーナー
大阪地区=☆梅田ガンコーナー、東宝南街ゲームセンター、ゲームスポット吉本、アポロゲームセンター、近鉄上本町ジョイフルランド
堺地区=ゲームスポット・イーストサイド
広島地区=☆広島宝塚ゲームセンター
松山地区=松山ゲームセンター
福岡地区=☆福岡宝塚ゲームセンター
大牟田地区=大牟田ゲームセンター
長崎地区=長崎宝塚ゲームセンター
熊本地区=熊本東宝ゲームセンター
別府地区=別府東宝ゲームセンター
●このうち☆印は地区決勝大会会場を兼ねる。
●全国チャンピオン大会会場 東宝日比谷アーケード・ゲームセンター

ニュースを編集部へ
各種催し、事務所移転など、広く知らせる必要のあるニュースは一刻も早く本紙編集部まで!!

会長に遠藤氏
第2回ヤングの会(東京)

JAA(全日本遊園協会)を中心とした東京の若手グループの会、「ヤングの会」は親睦会として昨年九月九日に発足。その後開かれていなかったが、ついに三月十五日第二回ヤングの会を、下北沢のパブレストラン「リバティハウス」を借切り開催。会長に遠藤栄氏(日本娯楽機㈱副社長)、特別顧問に真鍋勝紀(㈱シグマ社長)が、参加者十六名の圧倒的な支持のもと選出された。

業界の明日を背負う意気で、内容を充実したいと参加者は語っている。

論潮 完成された機械へ

かたや新製品発表会、かたや全国フリッパー大会と、いままさに春本番である。これから五月の連休のシーズンにかけて、各社ともあわただしくなることだろう。五月の連休が終るとすぐ夏休みシーズンが待ち受けており、どうやら今秋までのプランは固まりつつある、と言える。

ゲーム機の開発も年ごとに多彩になり、〈遊び〉を商品に据える本格的な機械が期待できそうで、大いに慶賀すべき時代に入りつつある。が、しかし、それはまだほんの入口にさしかかった段階であることも否めない事実である。今までは海外の既存の〈完成された〉機械によって、ある程度の発展を遂げてきたが、すでに日本製品の技術水準が欧米を追い抜くまでに成長している以上、こんどは本格的ゲーム機を国産でどこまで〈完成〉させていくか、が問われているわけだ。〈完成された〉機械となると、だれからも好まれ、何年間も親しまれる〝古典〟となる。

長いあいだメーカーは一生懸命になって機械製造に携ってきた。しかし、それは機械を運営するオペレーターの意見(思想)を消化していくところまで行くことができなかったのも事実だ。実際のところ、メーカーはメーカーの立場があり考えがあるし、オペレーターにはオペレーターのそれらがある。全く同じものであるはずがない。だが、より一層いい機械を作り運営していくとなれば、この流れをもっとスムーズにしておかねばならない。

たとえばあるメーカーは新製品をあるオペレーターのところへ置かせてもらう、ということが最近でてきた。売買でも賃貸でもない。その機械の良し悪しをそのロケーションでテストしているのである。もちろん調節可能で、オペレーターもどんどん意見をのべる。

立場は異っても業界で発展していこうとするなら、良い機械の開発、良い運営をたえず心がけるのが当然である。この方向でどこまで進むか、心楽しく見守りたいものだ。

仙台で単品のAM展
日本パイオニア

日本パイオニア㈱(本社=仙台市鉄砲町二ー四ー一の二、☎〇二二二ー九一ー六六八一、佐久間正則社長)では、四月十二日から二日間、ホテル仙台プラザ(☎六二ー七一一一)で、東北の単品ロケ業者などを対象に「アミューズメントショー」を開催する予定である。

タイトー新製品発表会のスナップ

注目を集めた「ツイン」

カッコイイ「インターセプター」

幼児むけのジャンケン「ピエロ」

期待に答えて スピードレース ツイン

関西での新製品発表会

タイトー

㈱タイトー（本社＝東京都千代田区平河町二の五の三、☎二六四－八七一一、M・コーガン社長）では、関西での同社新製品発表会を成功裡に終え、さらに東京での同発表会へと準備を進めている。

熱意増すオペレーター

三月十六日から二日間、大阪市北区にある大阪国際貿易センター五階で開かれたこの発表会は、同社関西第一販売部（守口市佐太中町三－七三、☎九〇一－一三九一、責任者正路広行氏）が担当したもので、東京での発表会に先立ち、もっとも早いスピードで同社新製品を発表したことになる。

そのうち一番早く紹介されたのが「スピードレース・ツイン」。好評を博した「スピードレース」のシリーズで、二人用。相手の車と競走するうえに衝突もある。また、道路上のタイヤで車がはじかれるなど、楽しみもアップして、見学者の注目を集めた。

ゲーム性が評価されるTVガンゲーム機「インターセプター」、小さな子ども向けのジャンケン「ピエロ」、太栄商事によるアーケード用パチンコ「ベースボール」、五人用メダルゲーム「ダービーキング」、同社決定盤「ウェスタンガン」と「スピードレースデラックス」、シーバーグ社ジューク「エンターティーナー」、ゴットリーブ社フリッパー「パイオニア」、「シュアショット」など同社による新製品展示のほか、㈱ユニバーサルの新製品「ビッグ・アンド・スモール」、「ステイクスレース」、メダル貸出機も併せて出展された。

昨年春の関西での発表会から見ると、見学者数はいくぶん少なくなったわりに、見学者が大変熱心になっており、昨年スピードレースを放ったタイトーに寄せる期待が大きいのと、きびしい環境にあるオペレーターが熱心にならざるを得ないことから、オーダーが著しく伸びた、と主催者側では語っている。

横ばいになった 自販機増加率

日本自動販売機工業会（事務局＝東京都港区西新橋三の六の三、芝ビル、☎四三一－七四四三、黒河力会長）がこのほどまとめた自動販売機の普及台数調査によると、昨年末の各種自動販売機（自動サービス機を含む）の普及台数は二百七十九万五千五百八十六台となった。これは一昨年末の二百五十万二千三百二十四台に比べて一一・七％増で、二〇ないし三〇％の伸びを示してきた自販機の増加ぶりは、多少横ばい傾向になった。

海外への社内旅行

ツムラ

娯楽機械の総合商社、を誇る㈱ツムラ（本社＝大阪市城東区諏訪二の七の三、☎九六九－三五三一、津村三百次社長）では、三月十九日から三泊四日の海外社内旅行を実施した。行先は香港・マカオで、少数精鋭主義による高利益の結果である、と同社長はうれしそうに語っている。

訂正

前号（第44号）で──

① 警察庁の異動記事中「鳥取」とあるのは「島根」が正しく、また

② フジ・エンタープライズ海外進出の写真説明文でスタインバーグ氏とあるのは「アルカ・エレクトロニクス社のR・W・スチュアート氏」が正しく、読者ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正します。

JOU四月例会

全国優良オペレーターの正式法人、日本娯楽機械オペレーター協同組合（事務局＝東京都渋谷区渋谷三の六の二、第二矢木ビル、☎四〇九－五二三二、内田博理事長、略称JOU）では、きたる四月十二日から十三日にかけて、三重県桑名郡長島町にある長島温泉において、四月例会を開く予定である。

事務所移転

㈱総商＝豊田市枡塚西町（ますづかにしまち）北小畔（きたおくて）六十七－一、☎〇五六六五－二一－三九二一。

映画「トミー」を見て

強力なイマジネーションの世界
押しつけられた不自由な状況からの飛翔

中藤保則

映画を見るのに理由も理屈もいらないと、ひらきなおしてしまったほうが、楽だし恰好がいいような気がする。そこを敢えて説明するなら、たとえば次のようなことになるだろう。主演（でなくてもいいが）女優になり男優に惚れて、その映画ならまず何でも見たくなるということ。あるいは、監督が気に入っていて、彼の監督する映画なら何でも見たいということ。

「トミー」の場合も、この二つは当てはまる。主演、たとえばアン・マーグレット。ここのところは少し沈んでいたが、紛れもなく良い女＝スターである。そして、「トミー」に、彼女だけを見に行ったとしても、決して、期待は裏ぎられない。特に、好みから言うならば、テレビに壜を投げつけて、割れた画面から吹き出した洪水（それはコマーシャリズムの奔流である）にのたうちまわるシーンなど、正にぞくぞくすることうけあい。アン・マーグレットはいいなあ、と思えるから、「トミー」はいい映画なのだ。

監督、ケン・ラッセル、「恋する女たち」「恋人たちの曲―悲愴」「肉体の悪魔」などで知られる鬼才である。彼のファンとして「トミー」を見たとしても、期待は裏ぎられないばかりではなく、彼の芸術の新たな展開を知るだろう。強力な戦慄的なイマジネーションの世界がある。

映画に音楽はつきものだ。時には映画より先にテーマ・ミュージックが有名になってしまうことさえある。「トミー」にもその傾向はあった。そして、音楽からこの映画を見に行くというパターンは、恐らく最も多いに違いない。「トミー」はミュージカルである。約二時間の上映時間中、既に有名になった曲も含めて、たたみかけるように鳴り響く。特殊音響（クインタフォニックQS方式）による効果は、一般公開の劇場ではすさまじいまでのものになろう。音楽の世界でのスーパースター、エルトン・ジョン、エリック・クラプトン、ティナ・ターナー、そしてザ・フー、彼らの歌い、シャウトし、演奏する姿はまさに圧巻。音楽ファンにはこたえられないものである。しかし、ここで問題が一つ。これらの音楽はすべてロック。ロックと聞いただけで後込みする人は多い。ただ、このロックは、今流のハード・ロックではないといっておこう。強烈な迫力はもちろん持っているが、意外にメロディックな施律があり、ロック嫌いにも十分訴えかける力を持っている。筆者三十三才、クラシックファン、ジャズ世代が保証します。

不必要な意味づけ

「トミー」を反戦映画とみることもできる。主人公トミーが陥った悲惨な状況、見ることもできず、話せず、聞こえない状況は、戦争によってもたらされたものであり、その状況を脱し、自由になる過程を描いたものということもできるからである。

しかし、そのような一面的な意味づけは、不必要だろう。そして具体的なストーリーさえ不必要といえる。ただ、現代が陥った状況、若者が最も敏感に抜き差しならない不自由さを感じている状況、そこから脱け出し、精神的な高みへ、自由へ、飛翔することに意味がある。それが「トミー」のいわんとする処だろう。

何によって？……ロックとフリッパーによって。そして、それらによって研ぎ澄まされた感覚によって。

我々はただ観客席に腰を落とし、音と映像が造り上げる強力なイマジネーションの世界を感じていればよい。その時間、それらが叩きつけ揺さぶる衝撃によって、一時的にせよ精神の飛翔を感じていればよいのである。

ゲーム機主役は初

もうひとつ、小型ゲームマシンが主役の座を与えられた映画は、「トミー」が最初だろう。また大型マシンも、トミーが死んだ父親のイメージを換起する重要なシーンに使われている。アメリカでこの映画が大ヒットし、それと共にピンボールのブームがおこったという事実を、我々がどうとらえるか。この機会に手をこまねいているだけという芸のなさでは、将来我々の業界も暗いといわなければなるまい。

オリバー・リード、ポール・ニコラスなどの脇役も個性豊かで楽しめる。そして特に、ジャック・ニコルソンの色目の使い方ときたら、男でありながらドキドキしたくなるほどなのだ。

愛読者ポスタープレゼント

東宝東和提供、映画「トミー」のポスターを差し上げます。ご希望の方は、本社編集部（☎〇六—三一四—〇三〇九）まで、ご連絡ください。

第1回トラベルプラン

今年11月 MOA・EXPO視察旅行

アミューズメント通信社、ジャスベル㈱

Robinson and Co. recently held a post MOA convention show at their F

お問合せに答える——

日本の第十四回AMショー（十月上旬）に引続き、アメリカで開かれるMOAショー。このMOAショーの視察を中心として企画したトラブルプランは、すでに本紙第43号（三月一日号）で発表ずみであるが、多くの方から質問や問合せ（申込みを含む）があった。その中からいくつかの質疑応答を、次に紹介——。

信頼できる企画

問　二年前のMOA旅行には多くの問題があったが、そういうことはないか。

答　たしかに二年前に本紙で紹介したMOA旅行では、主催者の不確さ、目的の不確さ、ハードスケジュール、などなど多くの点で問題を残した。今回はこうした反省と総括のはてに立案されたものであり、主催者としても第一回の企画であり、堅実を最重視して進めている。

問　主催者は本紙発行所だから責任は明確だが、旅行業者のほうはどうか。

答　旅行業者はジャスベル㈱で、堅実なだけでなく多くの実績を持っている優秀な会社である。詳しく言うと、スーパーマーケットのジャスコ㈱（資本金二十七億円、売上高一昨年度で全国第五位）が百パーセント出資で設立した会社で、IATA公認代理店。

問　では、このMOAショー視察旅行の目的はどうなるのか。

答　MOAショー視察を中心にした業務旅行という点が大きな目的だ。バリー社見学、ラスベガスのカジノ、サンフランシスコのグレートアメリカがそれに付随して、全般としてはアメリカのアミューズメントを視察、研究することが旅行の目的であり、決してMOAショーを名目にした道楽旅行を意図しているわけではない。従って、税法上の措置として、十分に必要経費と認められる証明書をさいごに発行することは自明だ。

手頃な10日旅行

問　スケジュールの点で無理はないだろうか。

答　十日間というのは長いように感じられるかも知れない。たんにMOAショー見学だけなら、もっと短縮することも考えられる。しかし、主催者側としては、MOAショーだけの参加者ではなく、広くアメリカのアミューズメントを的確にとらえていただくところに比重を置き、しかも全体の旅行費用との関連で最も妥当な案としたのだ。参加者のうちには、これでまだ短期間すぎると思う人も出てくるかも知れない。

確実安価な費用

問　旅行費用一人五十二万円というのは、いったい安いのか高いのか。

答　安い、の一言に尽きる。もっともこの値段は参加人数二十名を基準に算定してあり、参加人数がさらに増加すればさらに安くなる。なお費用の内訳は、運賃のほか朝食代、宿泊費、ガイド経費など。人数が集まらないから中止、などということはないし、費用は安くなることはあっても高くなることがない、という絶対的安価なのだ。

問　堅実な積立金方式とのことだが、その手続において不安はないだろうか。

答　むしろ不安を全部とりのぞくためにこの方式を採用した、と言える。具体的な手続きとしては、ジャスベル㈱に申込み手続きをしていただき、積立金は同社の銀行口座に集中的に振込んでいただくことになる（第一勧業高麗橋支店普通五〇〇一一八二二四四）。同社はその都度、受取証を参加者に送付し、確認していく。一度に総額払い込むのもひとつの方法だが、少しずつ積立てる方法のほうが絶対に確かである。なお、参加者の都合で参加取消の場合は「取消規定」が別に定められており、規定に従って積立金は返却される。

実り多い旅行をいかに堅実に進めるか、と絶えず研究していく所存なので、さらにお問合せを。

旅行費用積立方式

申込金　（例ー3月）	……5万円
第1回積立（例ー4月）	……5万円
第2回積立（例ー5月）	……5万円
第3回積立（例ー6月）	……5万円
第4回積立（例ー7月）	……5万円
第5回積立（例ー8月）	……5万円
残金（9月末日完納）	………22万円
合　計	……52万円

◉問合せ先
☎06（314）0309
アミューズメント通信社(赤木)
☎06（345）0701
ジャスベル株式会社(力津、松岡)

日数	月日（曜日）	訪問地	時間	交通機関	摘要
1	[illegible]	東京発	夕刻	航空機	
			国際	日付	変更線
2	[illegible]	シカゴ着	夕刻		到着後ホテルへ直行（シカゴ）
3	[illegible]	シカゴ			終日視察 MOAショー（シカゴ）
4	[illegible]	シカゴ			バリー本社見学 ほかオプション（シカゴ）
5	[illegible]	シカゴ発 ラスベガス着	11:50 13:28	TW195	到着後カジノへ（ラスベガス）
6	[illegible]	ラスベガス発 サンフランシスコ着	12:10 13:30	WA174	到着後専用バスにて市内観光（金門橋、チャイナタウンなど）（サンフランシスコ）
7	[illegible]	サンフランシスコ発 ホノルル着	18:45 22:00	PA841	終日視察 今年3月20日オープンのレジャーランド、マリオット・グレート・アメリカの施設、顧客サービスの研究 到着後ホテルへ（ホノルル）
8	[illegible]	ホノルル			島内半日観光 午後自由行動（ホノルル）
9	[illegible]	ホノルル発	昼	航空機	多大な成果をたずさえて帰国
10	[illegible]	東京着	夕刻		入国手続後解散

話題のマシン

●インター・セプター●●●●●●●●
撃墜数でプレイ時間を延長
タイトー

二人用の戦闘ゲーム機、TVガンゲームの新製品「インター・セプター」が、㈱タイトー（本社＝東京都千代田区平河町二―五―三、☎二六四―八六一一、M・コーガン社長）より発売になった。

百円で一プレイのこの機械は、ゲーム時間が一分三十五秒前後であるが、十秒までの時間調整は可能。敵機には、時間的に向きが変わるもの、大きさの変わるもの、反転をするものなどがある。またコースの種類も多いので、変化に富んだ動きが楽しめる。敵機が上昇する時、下降する時、機関砲の反射と爆発に、それぞれ異なった効果音で臨場感を盛り上げる。

遊び方は今までの戦闘ゲームとほぼ同じであるが、多くの特徴を備えているので、よりおもしろくゲームが運びそう。

得点が二十点、四十四点、六十点、八十八点になるごとにプレイ時間が延長されるのが傑作。定価六十七万円。

インター・セプター

☆　☆　☆

ゴットリーヴス社の新製品フリッパーが二台、タイトーから発売される。それは、すでに発売となっている「パイオニア（二人用）」。四月末発売予定の「シュア・ショット（一人用）」。

前者は、アメリカ建国二百年をもじったもので、プレイフィールド中央左右にある八個のドロップターゲットに、一七七六と一九七六の文字があり、ボールが当ると五百点の得点になる。ロールオーバー（A・B・C・D・E）の上をボールが通るとボーナス得点になり、また、すべてのロールオーバーの上をボールが通り、すべてのドロップターゲットにボールが当ると、キックアウトホールのランプがつき、得点が二倍になるか、エクストラボールが出るか、特別の得点になるかのいずれかになる。そのほか六万点のダブルダブルボーナスがつくなど、得点は上がる一方で、楽しさもバツグン。定価六十万円。

後者はビリヤードを組み入れたゲームで、中央に15個のボールがあり、すべてが点灯するとボーナスの得点になる。またフィールド上の番号のついたボールの上を通ると得点が上がる。ビリヤードを知っている人は、おもしろさも倍加することまちがいなし。定価五十五万円（予定）。

パイオニア

シュア・ショット

斬新なドライブゲーム
セガ・ロードレース
セガ社

㈱セガ・エンタープライゼス（本社＝東京都大田区羽田一―二―十二、☎七四二―三一七一、D・ローゼン社長）では、このほどTVドライブゲーム機「セガ・ロードレース」を発売した。

この機械の主な特徴には、次の二つが挙げられている。

① 画面の走行路が左右に曲りくねっていて、その上、先へ行くに従って細くなっているので遠近感もあり、実際の道路を走行する臨場感を満喫することができる。

② 難易度調整装置によって、車の大きさに変化をもたせることができるので、初心者からベテランまで、幅広い顧客層のニーズに応じられる。

その他、大人から子供まで最良のポジションでプレーできるチルト・ハンドル、ロケーションのスペース状況にあわせて使用するシートなど、数々の新考案が盛りこまれている。

二十三インチ白黒ブラウン管使用でゲーム料金は一ゲーム百円。定価六十四万円。

公営ギャンブルの売上高
（通産省・運輸省・中央・地方競馬会調）

年度・区分		売上金額（百万円）	入場者（千人）
48年度	競輪	916,757	43,822
	オートレース	127,436	7,436
	モーターボート	895,649	40,760
	競馬（公営）	566,151	24,466
	競馬（中央）	660,542	14,756
	合計	3,166,535	94,556
49年度	競輪	1,090,572	46,029
	オートレース	154,038	8,031
	モーターボート	1,078,698	44,411
	競馬（公営）	677,582	25,797
	競馬（中央）	776,461	14,627
	合計	3,777,351	138,895

今春最大の傑作!!
競輪セット
フジ・エンタープライズ

日本においては、競馬が他の競輪やモーターボートなどに比べて、人気を独占しているように思われがちだが、さにあらず。通産省・運輸省・中央・地方競馬会の調査による「公営ギャンブルの売上額」を見ると、競輪人口が、競馬（公営・中央）人口をはるかに上まわっていることがわかる。

この競輪ブームにのって、フジエンタープライズ㈱（本社＝東京都新宿区北新宿一―七―二十一、☎三六五―〇六一一、上山武夫社長）から「競輪セット」が発売されている。

これは、各ゲーム場でたいへん好評の競馬ゲーム「フジ・ハーネス・デラックス」の馬のかわりに、競輪選手を置いたもの。背中にゼッケンをつけた五人の選手が、一生懸命自転車を走らせる。選手の足が、ペダルを踏んでコミカルに動くのが実に楽しい。人形は色分けされているので、試合運びがわかりやすく、音響効果もなかなか良い。久々の大傑作登場というところ。

競輪用人形六台とテープ二本が一セットで五万円。

ゲーム コーナー 拝見

お金と遊びの 十メートルだけの 「二人三脚」

森田幸和

ゲームコーナーでの遊びは、お金と二人三脚である。金がなければ面白くない。お金があればあるほど、それだけ長く、面白く遊べるはず……。

そう気づいたのは、アレヨアレヨという間に千円札一枚が消えてしまってからであった。時間にして三十分かかったかどうか…。

色あざやかな馬がブラウン管で一所懸命に走るのにみとれ、スポットライトをあびたスロットマシンの片腕をグイッと引き、深海をのぞき込むようにして軍艦に魚雷を当てる（つもりであったが、結局一発も当らなかった）のに夢中になって、千円、である。

せわしなくメダル貸出機に足を運び、掌の中でメダルの触れあう音を楽しみながら機械に向う。瞬間的にメダルの数がふえることもあったが、機械の気まぐれさは情容赦もない。喜んでいる間もなくメダルを呑み込みつづける。たちまち、三十才前の男の一日の小遣いをスッテンテンにしてしまう。

後ろめたさの中で

ゲームコーナーに入るたびに同じことのくり返し。時間つぶしのため、仕事の気ばらしのため、酔いざましのため……色々な理由で街角のゲームコーナーに入る。もったいない、無駄遣い、それだけのお金でお肉が○○グラム買えるのヨ、という女房やおふくろの声が遠くで聞こえる。「女には遊びのココロがわからないのサ」とつぶやき返しながら金をメダルに換える。

しかし、五百円をつかいはたし、千円近くをつかい込みだすころから、どことなく後めたい気がしてくる。ひょっとして、俺は本当に無駄遣いをしているのではないか――と思いはじめるのである。

それでも、〝遊びにも金のかかる世の中なのだ〟〝これだけの工夫をこらした電気機械を相手に遊ぶのだ、少々金のかかるのはあたりまえ〟といいわけじみた考えをもちつづけてメダルを機械にほうり込む。

こうなるともうダメである。賭けた馬や車が僅差ではずれたり、スロットマシンの絵柄が合わないと額に油汗が出てくる。やめときゃよかった。買いたい本があったのに、プラモデルを買ったほうが、ずっと長く楽しめたのに……。疲れて、みじめに、ウジウジと帰途につく。

金のない面白さ？

この感じは、パチンコの敗北と似ている。しかし、パチンコの敗北感は、「今度勝って、今日の負けをとり返せばいいさ」と思う自分勝手な〝なぐさめ〟によって何とか消し去ることができる。ゲームセンターでの敗北感はそうはいかない。いくばくかの洋モクをクレーンで手にすることはできても、「勝った」という感概はない。だから、「今度勝てばいい」ではなく、「今度はもっとたっぷり楽しんでやるさ」と思うのがせいぜいのところである。

趣味や遊びというものを、そのためにいくら金や時間をつぎ込んでも惜しくないもの、その代償としては楽しみだけがあるもの、と定義がすれば、ゲームコーナーのゲームは、パチンコよりも、より遊びに近いといえる。

この〝遊び〟のココロを人に理解してもらうのは、なかなかむつかしい。遊び（ゲーム）に夢中になったところで、出世するわけでもない。もちろん、人に誉められることもない。体にいいとも思えない。ただあるのは、つかの間の楽しみだけだ。

「賭け、というにはあまりにもささやかなものですけどね、金やら世間体、見栄や陰口、根まわしに小細工エトセトラ、浮世の垢とホコリと泥にまみれて生きていかなあかん俺らにとってはね、くだらんといわれても、無駄遣いとののしられても、ブラウン管のテニスやゼロ戦の空中戦、ロケットの宇宙旅行はオモロイ。何の得にもならんけど、面白かったらええやないか。ゼニ・カネ忘れてな。百円玉がうなるほどあったら、一日中でもおれるとこや、ゲームコーナーは」――と酒場で知人にクダまいたら、水をさされた。

「金がなんぼでもあったらオモロイかね。金がないから面白いのとちがうかね。ワァ、こんだけも使うてしもた。もう金あらへん。エライ損や、大損や。何の役にも立たんことに金を使うてしもた。もうやめや。といいながらまた行くのがオモロイとこやないか。金がなんぼでもあったらオモロナイでェ」

ここで、「それは、金のない貧乏人のいうことデス。負け惜しみデス。面白いことがいつまでもつづくことほどええことはないのデス」といいかけて、やめた。本当のところ、いくらでも金があったら、ゲームコーナーは面白くもなく、ただ疲れるだけのところなのだ。

疲労を売るメダル

それを経験したことがある。もっとも、その経験は、金がいくらでもあったというのではない。金はいくばくもなかったが、メダルが山ほどあった経験である。

信州のホテルの地下にゲームコーナーがあって、時間つぶしにスロットマシンを相手にやりだしたら、二台目の機械が気狂いであった。メダルを入れなくてもハンドルが引ける。そればかりか、絵柄が合おうとなかろうと、ジャラジャラとコインが出る。グイッと引けば、何枚か、ときには何十枚も出てくるという、無節操きわまりない機械だったのだ。

この故障した機械から三百枚ほどメダルを出して喜んだものの、そのメダルの処分に困った。金はもちろん、タバコにも換えてくれない。結局、ほかのマシンに必死になってメダルを投入し、ハンドルを引き、絵柄が合わないことを念じながら二日がかりで消化した。疲れだけが体に残った。

過ぎたるはナントヤラ。冒頭に書いた、「お金と二人三脚である」というのは、せいぜい十メートル走るぐらいが適当なようである。

（もりたゆきかず・単行本編集者）